

## 審査結果報告書

平成 30 年 1 月 29 日

主 査 氏 名 福田 倫也 

副 査 氏 名 高橋 香世子 

副 査 氏 名 石坂 郁代 

副 査 氏 名 東條 美奈子 

1. 申請者氏名 : DM14005 市野沢由太

2. 論文テーマ :  
脳卒中片麻痺患者の病棟内における実用歩行の決定因子

3. 論文審査結果 :

本論文は、回復期リハビリテーション（回復期リハ）病棟入院中の脳卒中片麻痺患者の病棟内における歩行動作に注目し、横断研究及び縦断研究からその実用性の可否を決定する因子について検討した本邦最初の報告である。横断研究において、片麻痺患者の病棟内実用歩行の可否に関連する因子は発症からの時期によって異なり、麻痺側下肢機能は発症後早期・中期において因子となる一方、バランス機能及び歩行速度は発症後早期・中期・後期一貫して因子となることが明らかになった。縦断研究では、10メートル歩行が可能となった時点でのバランス機能及び歩行速度を用いて、発症後6ヶ月になる時点までの病棟内実用歩行の可否を同等に予測できること及び両項目ともに診断率が高いことが明らかになった。

本論文において、脳卒中片麻痺患者の病棟内実用歩行を決定づける有用な因子としてバランス機能及び歩行速度を捉えることを強調している点は回復期リハ病棟入院中にリハビリテーションを実施する上で極めて重要であり、臨床的にも意義深い。

博士（医学）の学位に相応しいと判断した。